



NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会

MANO a MANO

～「mano a mano」とはスペイン語で「手から手へ」という意味です～

会員総数 778 人

医師 163 人

コメディカル 615 人

【管理栄養士紹介登録数 40人】

平成20年11月20日現在

《目次》

「今を大切に生きる」～患者さんに伝えたいこと 宮川 高一先生……………	Page 1
研究会等の実施報告……………	Page 2、3
研究会他のお知らせ……………	Page 4
事務局からのお知らせ……………	Page 4

「今を大切に生きる」～患者さんに伝えたいこと～

多摩センタークリニックみらい 宮川 高一

糖尿病患者さんによく「将来の合併症が怖いので、糖尿病の治療を一所懸命に行いましょう」と私たち医療従事者はよく指導すると思います。「将来のため」いわば「保険」のようなものが「自己管理」だというわけです。私自身はこの言葉だけではなかなかしっくりしないという感を長年持っていました。昨年実は私自身血圧が高くなり、約半年かけて11キロやせました。その後リバウンドで1キロばかり増加しましたが、なんとか現在もこの体重を維持しています。中性脂肪や尿酸などそれまで高かった検査結果もすべて正常化しました。その際「なんで自分は今、食事や運動療法を行う努力をしているのだろう」と自問自答しました。昨年新しいクリニックを開設し、「ここで頑張らなければならない」、「今を大切にしなければならない」だから「減量」に励むのだということだと思ったのです。患者さんも同じではないでしょうか、やはり「今を大切にするため」に自己管理に励むのだと思います。ましてや糖尿病の治療は年々格段の進歩をしています。網膜症はいまや視力障害の第一位の座から、光凝固や硝子体摘出術などの進歩で第二位になりました。持続血糖モニター、経ロインスリン、DPPIV阻害薬やGLP-1アナログ、また1型糖尿病にはIPS細胞からの膵島細胞を使った膵島移植など、近未来にはもっと楽な治療法ができるでしょう。食事療法や運動療法の方法も進歩しています。食事療法では「やせ型患者」のエネルギー量は緩和方向ですし、運動療法でも、かつては有酸素運動一本やりであったのが、いまでは「筋力トレーニング」や「こまめな日常生活の動きの活発化」が強調されてきました。より現実的、より実践的になっています。また私の患者さんのHbA1cも治療の進歩のおかげで1998年の平均7.6%から本年は6.8%まで改善してきています。将来の医学の進歩を信じて、「今を大切にするため」に「自己管理」を行うのだという視点が一番患者さんへのメッセージとして有効であることを日々感じながら診療をしています。



研修会等の実施報告

西東京臨床糖尿病研究会第44回例会が開催されました

平成20年11月1日(土)「国分寺Lホール」において開催されました。

当研究会副理事長 第44回例会世話人 植木 彬夫
第44回NPO法人西東京臨床糖尿病研究会例会は「糖尿病診療に役立つ新しい知見」というメインテーマを掲げ11月1日に国分寺Lホールにて開催しました。3連休の初日であったにも関わらず98人の参加者がありました。

貴田岡正史理事長の挨拶の後、高村内科の石川麻咲子先生には糖尿病患者の喫煙状況と禁煙外来の立ち上げ方法、また禁煙外来での取り込みの具体的経験を、はるクリニックの西村晴美先生には、期待される新たな糖尿病薬として話題のGLP1やDPP4阻害薬の薬理作用と実際の臨床治験から得られたデータを開示していただきました。重要だと判っていながらもなかなか実行できない禁煙指導のノウハウや、新たな糖尿病薬の位置づけはこれから我々が向かう糖尿病治療の方向について、示唆に富む講演でした。



特別講演を頂いた九州大学の清原裕先生からは、膨大な時間と作業の中から得られた「久山町研究」のデータから、糖尿病の合併症は大血管障害だけではなく、アルツハイマーなどの認知症とも深く関わっていること、そしてそれが増え続けていることを示して頂きました。

最後に今回の幹事である高村宏理事より挨拶を頂き、3時間以上に及ぶ長い講演会は盛会のうちに終了しました。参加された会員が食い入るように耳を傾けてたことが印象的でした。

2008. 11. 14世界糖尿病デー ～ブルーライトアップスカイタワー西東京～

「世界糖尿病デー」拡大を続ける糖尿病の脅威を踏まえ、2006年12月20日、国連は国連総会議で「糖尿病の全世界的脅威を認知する決議」を加盟192カ国の全会一致で可決しました。同時に従来、国際糖尿病連合会（IDF）ならびに世界保健機関（WHO）が定めていた11月14日を「世界糖尿病デー」として制定しました。

NPO法人西東京臨床糖尿病研究会では11月14日(金)の世界糖尿病デーにスカイタワー西東京（株）田無タワーと共催で世界糖尿病デーのライトアップに参加しました。



ブルーライトアップされたスカイタワー西東京

第19回 多摩糖尿病チーム医療研究会薬剤師分科会

平成20年9月25日(土)「緑風荘病院グリーンボイス」において開催されました。

平成20年9月25日(木)に緑風荘病院グリーンボイスにて『第19回多摩糖尿病チーム医療研究会 薬剤師分科会』が開催されました。進行役である公立昭和病院 薬剤部 本田先生のもと、第一部では、公立昭和病院 内分泌代謝内科 大黒先生より『外来インスリン処方とその背景』のご講演、第二部では『ミリオペンの新規患者さんへの導入指導について』という演題のもと、公立昭和病院 薬剤部 松井美智代先生による、インスリン導入の指導デモを実演して頂きました。

大黒先生のご講演では、インスリンの働きから、患者さんへのインスリンを導入する理由、インスリン製剤の使い分け等、具体例も提示しながらご講演頂きました。参加者からも、非常に判り易くご講演頂いたと好評でありました。また第二部では、病院にて実際に行われている病院でのインスリン導入に関する患者指導のデモをコメンテーターである大黒先生のもと松井先生により実演されました。参加者の多くは、『病院での指導がどの様に行われているか知らなかったので、非常に参考になった』、『模擬患者からの質問も多種多様で、かつ多くの質疑応答が有りとても良かった』と好評でありました。ご参加頂いた方々からは、『明日から参考にして、患者様への療養指導のサポートにつとめます』と言った言葉もあり、多くの参加者より活発な意見交換がなされ、本会は盛況のうちに終了しました。

第46回 多摩北部医療センターとの糖尿病に関する連携の会

平成20年10月20日(月)「多摩北部医療センター」において開催されました。

平成20年10月20日に多摩北部医療センターにおいて「第46回多摩北部医療センターとの糖尿病に関する連携の会」が開催されました。今回、当番世話人は東久留米市の石橋クリニック 石橋幸滋先生がご担当されました。

一演題目は「糖尿病 ～コントロール不良の一例～」ということで、石橋クリニックの高田慶子先生に詳細な症例発表をして頂きました。血糖コントロールが不良で、仕事での付き合いが多く生活習慣改善が困難な管理の難しい患者さんについて、先生方から様々な意見が挙げられました。

二演題目は、石橋クリニック 石橋先生より「コンピューターを利用した糖尿病生活指導用ツールの紹介」という演題で製薬会社と作成された、患者さんへの説明のツールとして使用できるCD-ROMをご紹介して頂きました。日頃の診療において患者さん個々のポイントをしばった説明がその都度可能になるコミュニケーションツールとして、活用できるのではないかとご紹介して頂きました。

各演題において様々な職種から活発な意見交換が行われ、本会は盛況のうちに終了致しました。





研究会他のお知らせ

◆ 直接事業 ◆ 間接事業

◆ 第96回 実践栄養指導勉強会（お申し込みは不要です）

テーマ：栄養相談室でできる運動指導 ～座ったまま出来るエクササイズ～

開催日：平成20年12月2日（火） 18：45～20：15

場 所：緑風荘病院併設グリーンボイス1F デイルーム

（東村山市萩山町3-31-1 西武拝島線八坂駅徒歩）

参加費：会員 無料 非会員500円

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位



◆ 第19回 武蔵野糖尿病研究会（※お申し込みが必要です）

テーマ：第1部「閉塞性動脈硬化症でステント治療が有用だった症例」

第2部「血管医療について」（仮）

開催日：平成20年12月13日（土） 16：15～18：00

場 所：武蔵野赤十字病院 山崎記念講堂（JR中央線武蔵境駅南口より徒歩7分）

参加費：500円

申込み：当会ホームページから申込用紙をダウンロードのうえFAXにてお申込みください。

宛 先：かんの内科 武蔵野糖尿病研究会事務局

FAX番号：0422-40-5033

問い合わせ：042-548-2393（バイエル薬品 担当：林）

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位

◆ 第7回 症例検討会（※お申し込みが必要です）

テーマ：「療養指導を受けないまま10年過ごした糖尿病腎症の患者 66才 男性」

開催日：平成21年1月23日（金） 19：00～21：05

場 所：立川女性総合センターアイム5階（JR立川駅北口より徒歩5分）

参加費：500円

定 員：32名（先着順）

申込み：同封の申込用紙にてFAXにてお申込ください。

宛 先：西東京臨床糖尿病研究会事務局

FAX番号：042-322-7478

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：4単位



事務局からのお知らせ

事務局年末年始休業のお知らせ

平成20年12月27日（土）～平成21年1月4日（日）までお休みとさせていただきます。本年も会員の皆様には大変お世話になりました。来年もよろしくお願ひ申し上げます。

NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 事務局

〒185-0012 国分寺市本町3-10-22 オリエンツ 402

TEL：042(322)7468 FAX：042(322)7478

http://www.nishitokyo-dm.net Email:w_tokyo_dm_net@ybb.ne.jp

